

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- キャビネットが転倒してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
 - ・棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度がたりません。)
 - ・棧木は石こうボードの表側には取付けないでください。
 - ・必ず棧木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番ベースプレートに「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。
- 棚板取付けの際は、「カチッ」と音がするまで棚板の手前を押上げ、本体に固定されていることを確認してください。棚板の脱落の原因になります。

■取付け上のお願

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障が出るおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが傷損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじ頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 接着剤は、同梱のものをお使いください。

■部材部品一覧表

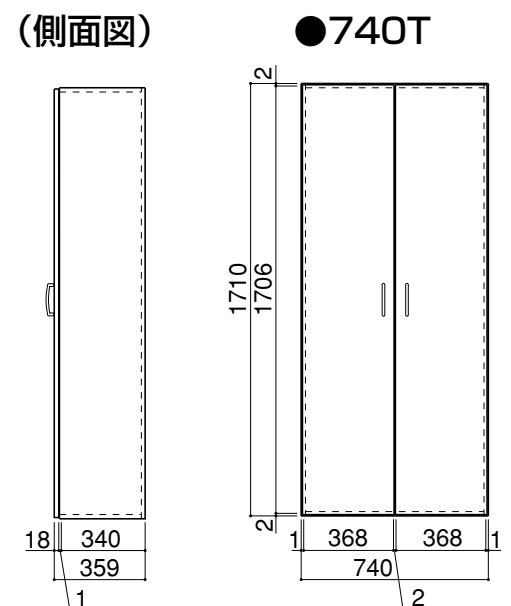
●キャビネット梱包

名称	キャビネット 連結ねじ φ3.5×27 (黒)	躯体 取付けねじ φ3.8×60	把手 (ねじ付き)	接着剤	丁番座	丁番カップ	丁番カップ 固定ねじ	ショック アブソーバーセット (アダプター 取付けねじ)
形状								
数量	10	3	2	1	6	6	12	2

●回転式本体梱包

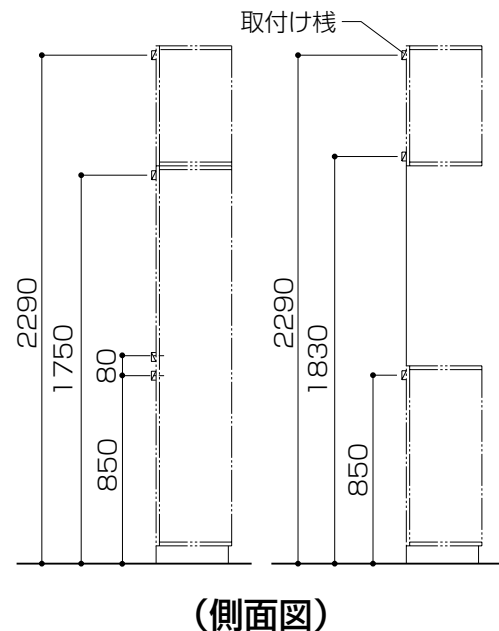
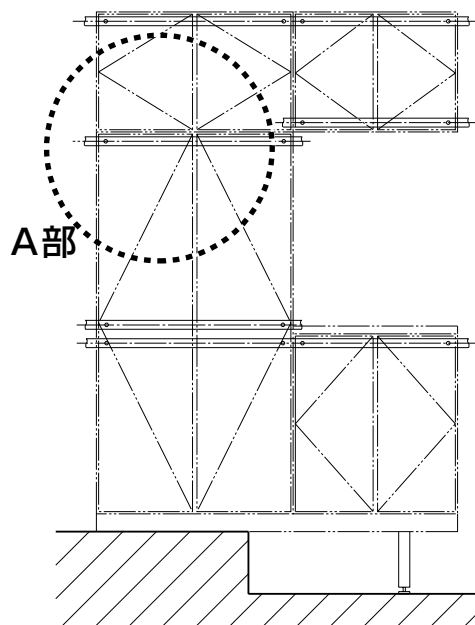
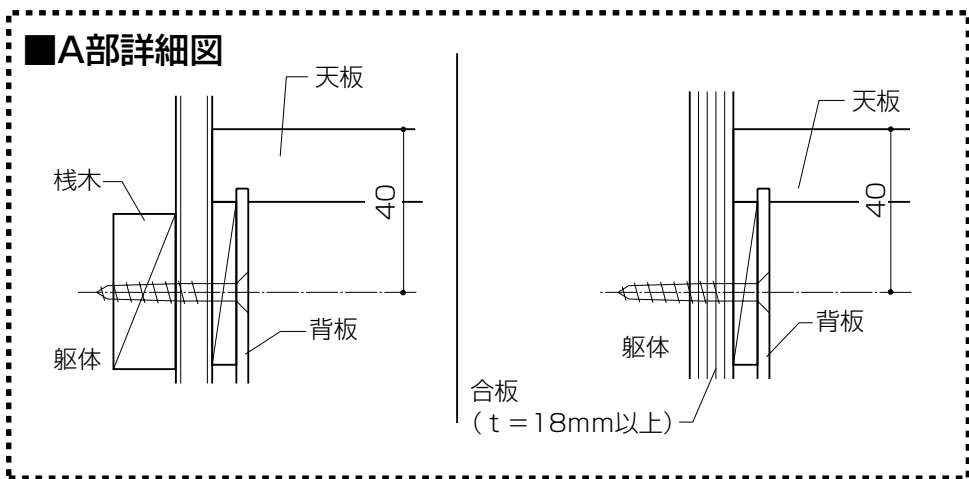
名称	回転式 本体	スライド レール	アーム取付け ねじφ5×10 スプリング ワッシャー 平ワッシャー	ハンドル	ハンドル取付け ねじφ5×25 平ワッシャー ナット	棚板	棚板 サイドカバー	落下防止 バー
形状								
数量	1	1	各2	1	各2	15	R/L各15	15

■寸法図



■据付け前の準備

- 据付け場所と上がり框の位置および、収納セットの左右勝手を確認し、所定の壁面(躯体)に栈木を設置します。(A部詳細図参照)

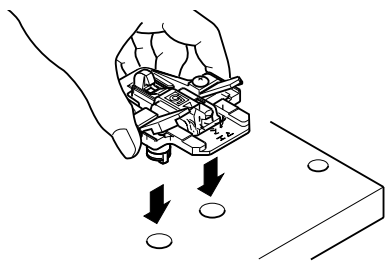


▲注意

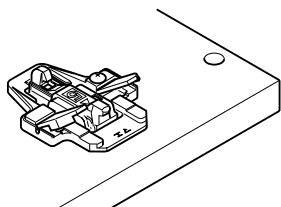
- 必ず栈木を設置してください。転倒のおそれがあります。
- 栈木は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- 合板(t=12mm)のベタ張りでは、吊下げ強度がたりません。必ず、(t=18mm)を使用してください。

■組立て順序

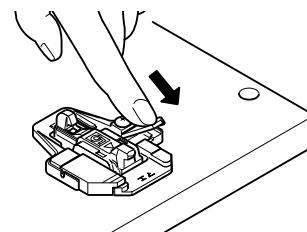
1 丁番座の取付け



- 丁番座を側板(中仕切)の加工穴に差込みます。



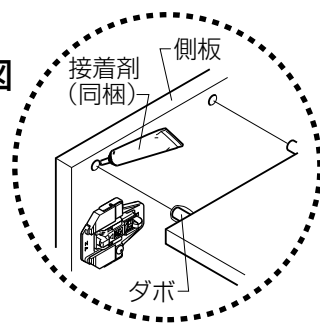
- 黒レバーをおろして丁番座を固定します。



2 側板・天地板の組立て

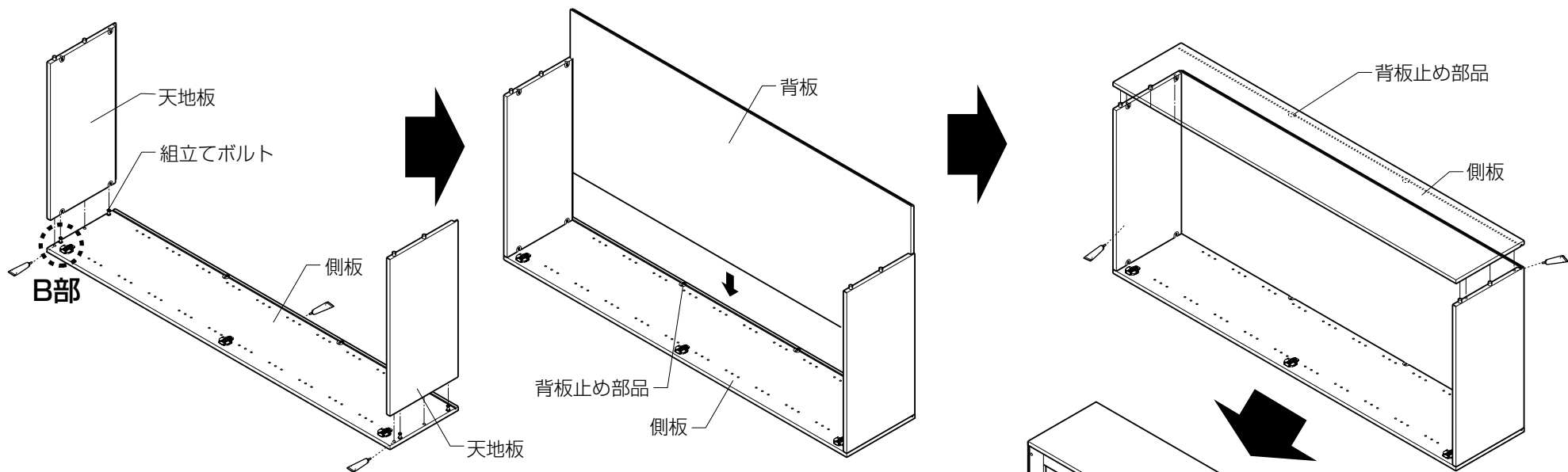
- ①天地板・地板を片側の側板にはめ込みます。
- ②背板を側板の溝に差込み、背板止め金具を締めます。
- ③もう一方の側板を差込みます。
- ④キャビネットの垂直を確認した後、残りの背板止め金具を締めます。
- ⑤皿木ねじφ3.5×27(黒)で背板を天地板に固定します。

■B部詳細図



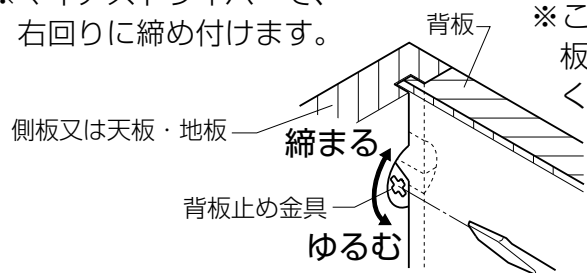
お願い

- 接合部には必ず接着剤を充てんしてください。



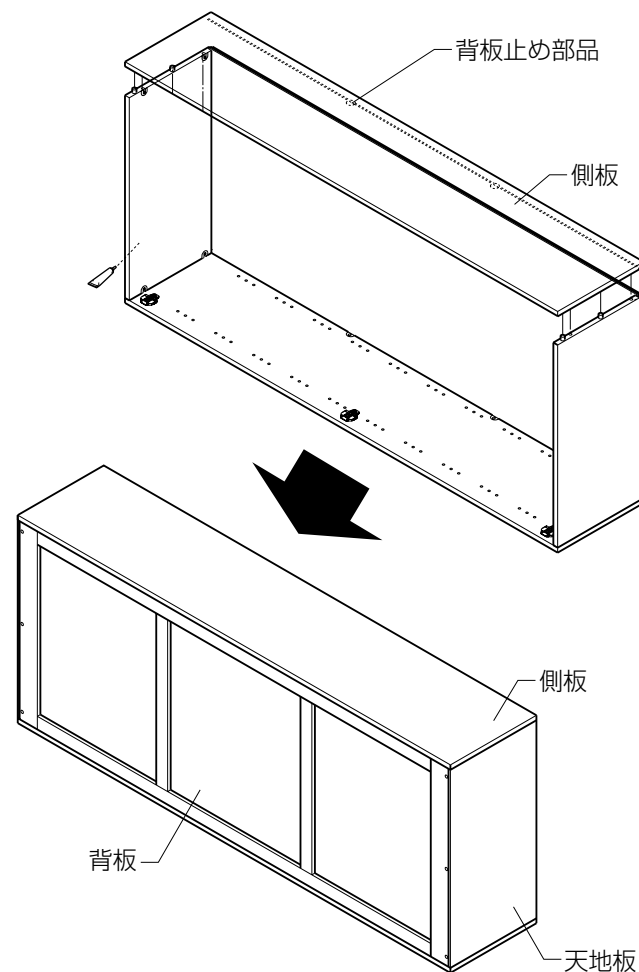
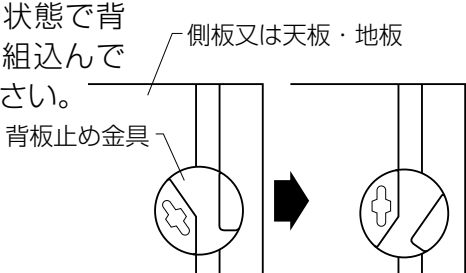
■背板止め金具の締め方

- ※マイナスドライバーで、右回りに締め付けます。



【組立て前】 【組立て時】

- ※この状態で背板を組込んでください。

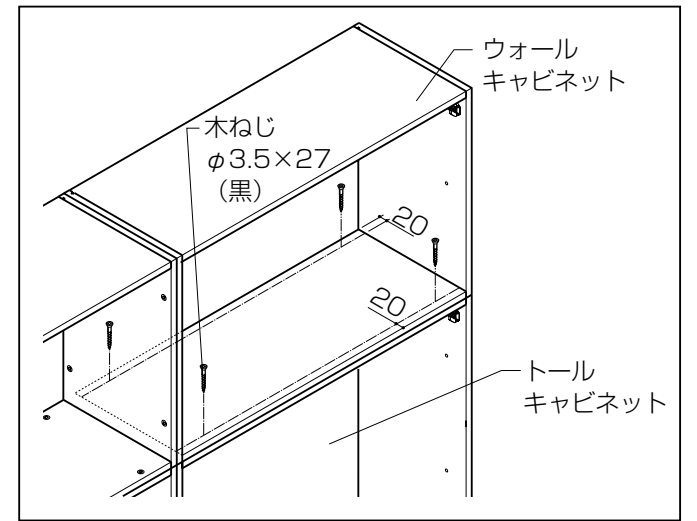
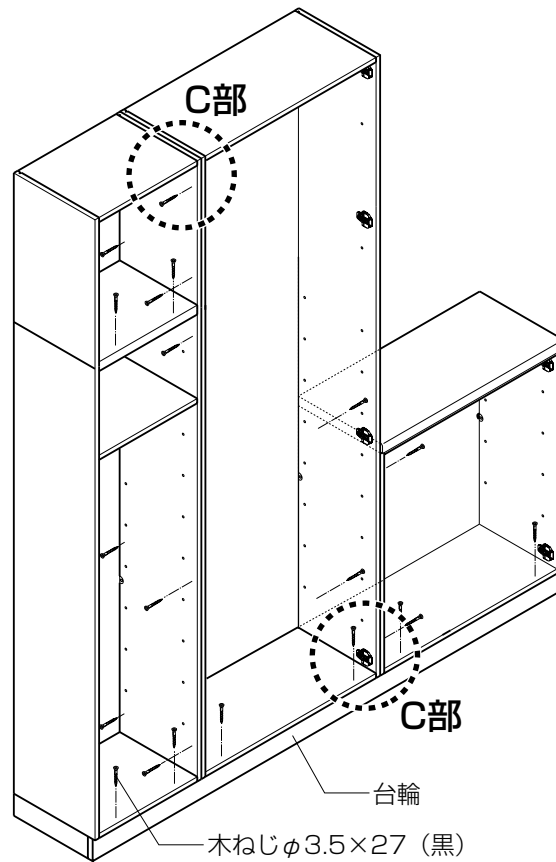
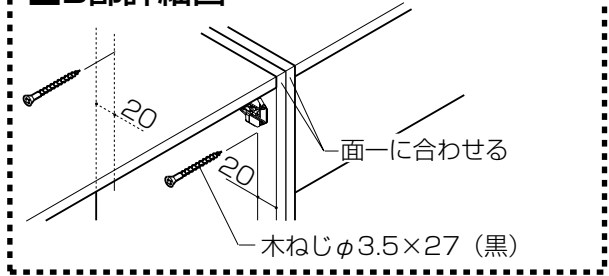


3 台輪への固定

【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板前面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×27(黒)で止めます。(C部詳細図)

■B部詳細図

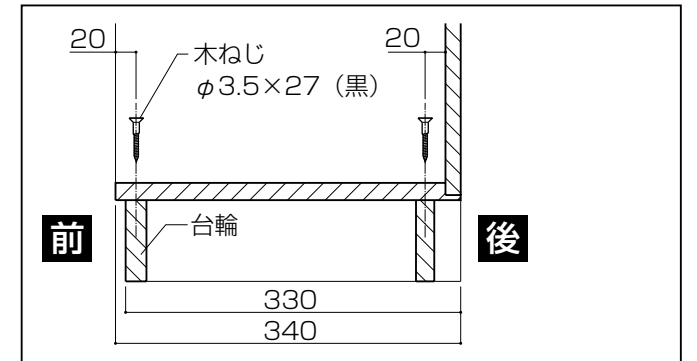


【台輪+各キャビネット連結】

- キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。
- ※キャビネットの背面を壁面に合わせ、左右のチリを均等にしてください。

【ウォールキャビネット+ツールキャビネット連結】

- ウォールキャビネットの地板からツールキャビネットの天板へ(上から下へ)木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。

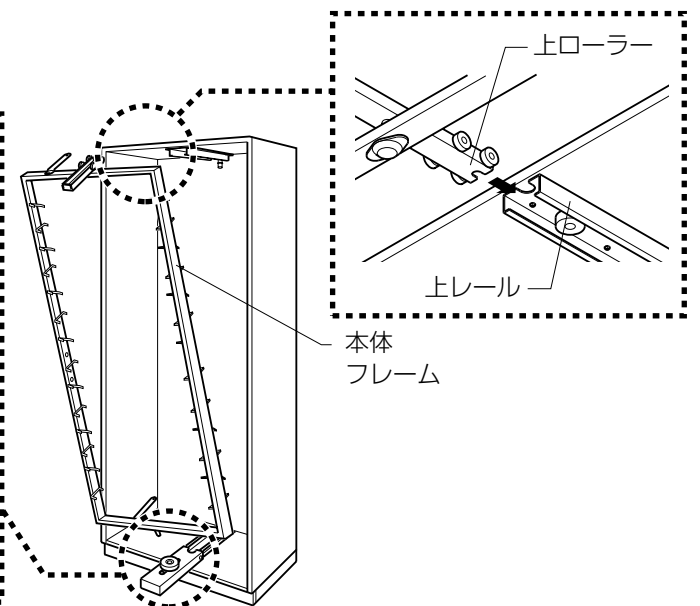
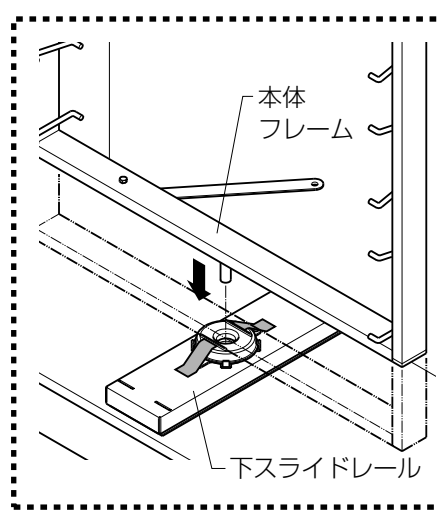
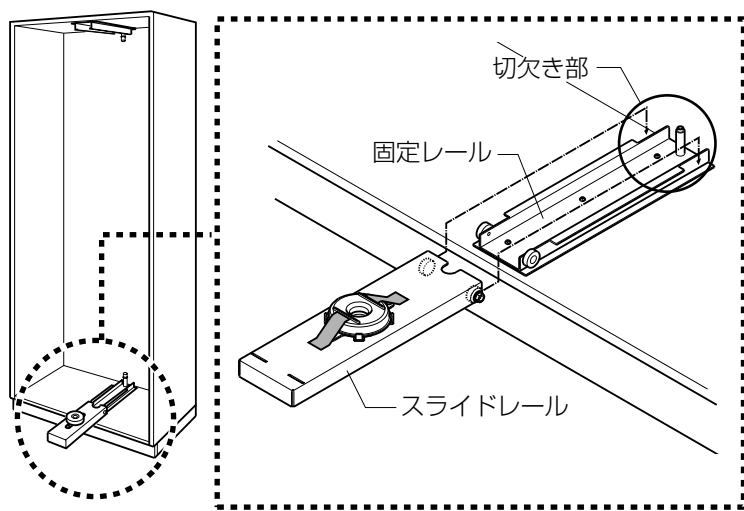


4 回転式ユニットの取付け

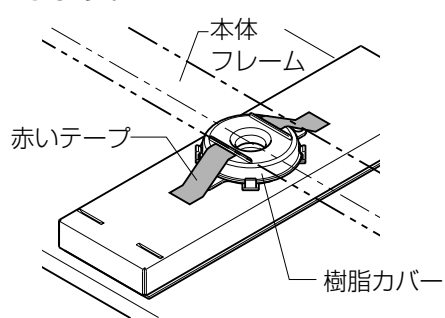
- ①固定レールの奥の切欠き部からスライドレールを入れます。
- ②スライドレールを動かし、固定レールにスライドレールが入っていることを確認します。

- ③下スライドレールの白い樹脂カバーの溝に、本体フレームの向きを合わせて入れます。

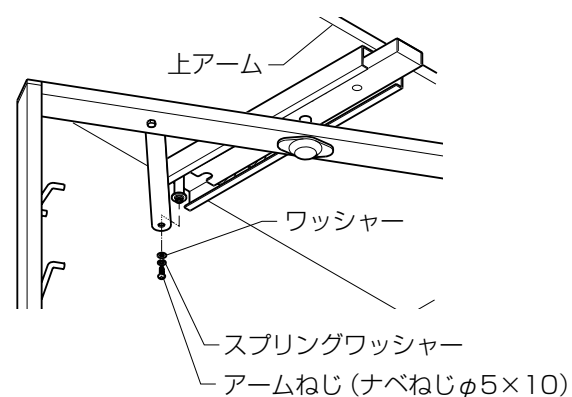
- ④上ローラーを上レールにはめ込みます。



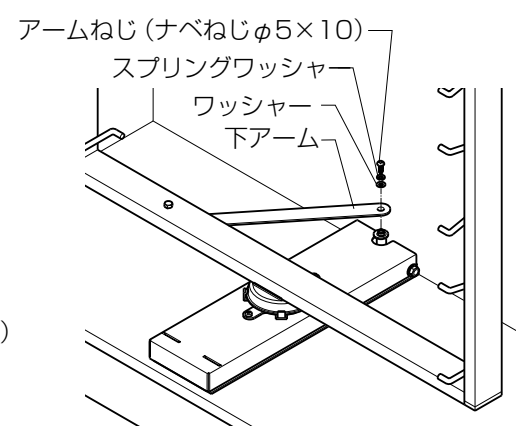
- ⑤溝に入っていることを確認し、赤いテープをはがします。



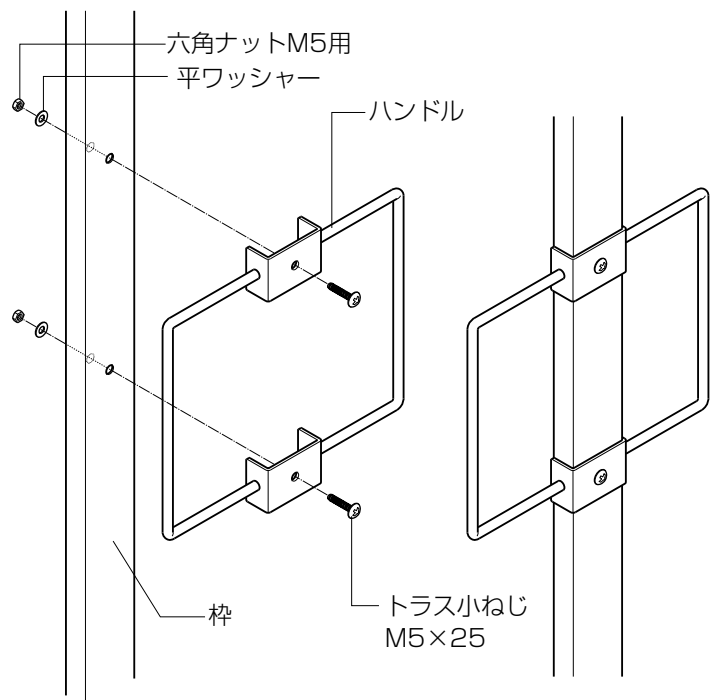
- ⑥上アームを固定します。



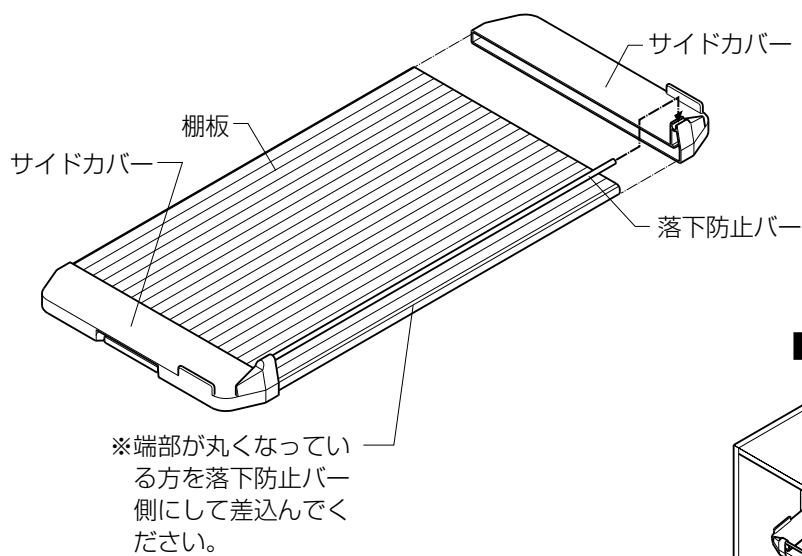
- ⑦下アームを固定します。
- ⑧アームねじが固定され、溝に本体フレームが入っていることを本体をゆすって確認します。



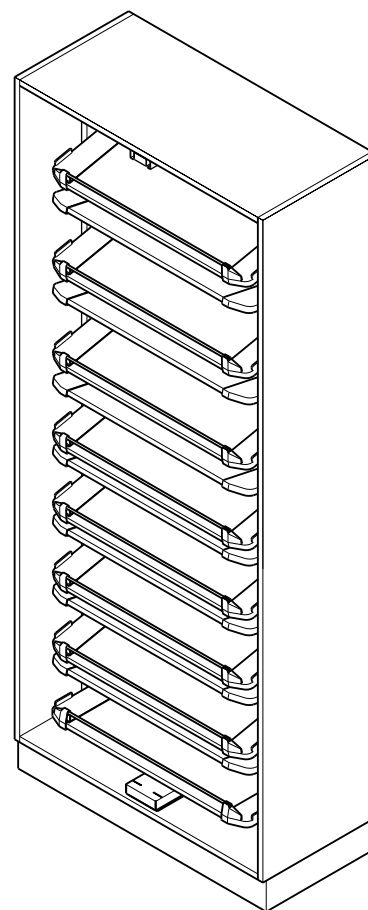
⑨ 枠の穴に合わせて、ハンドルを取付けます。



⑩ 棚板に左右のサイドカバーと落下防止バーを差込みます。



■完成図



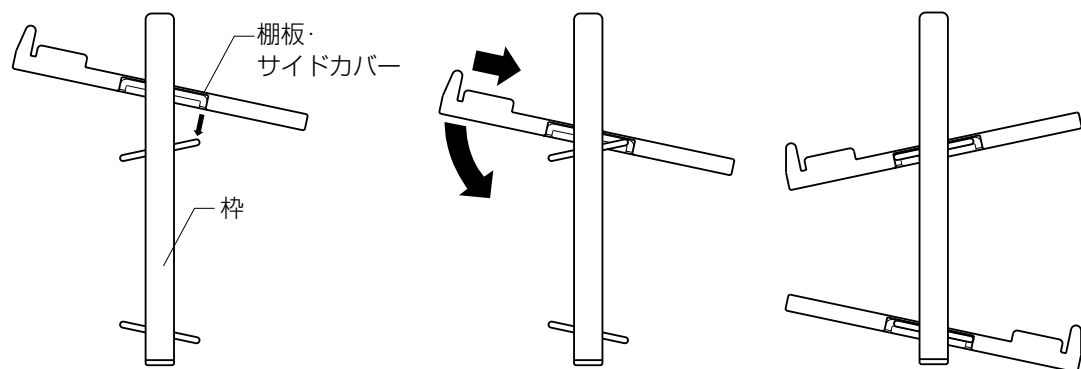
⑪ 棚板を枠の中に入れ、サイドカバーの奥の穴を金具の奥の方にはめ込みます。

⑫ 棚板を奥に押しながら手前を押し下げます。

※外す場合は、逆の要領で行ってください。

▲ 注意

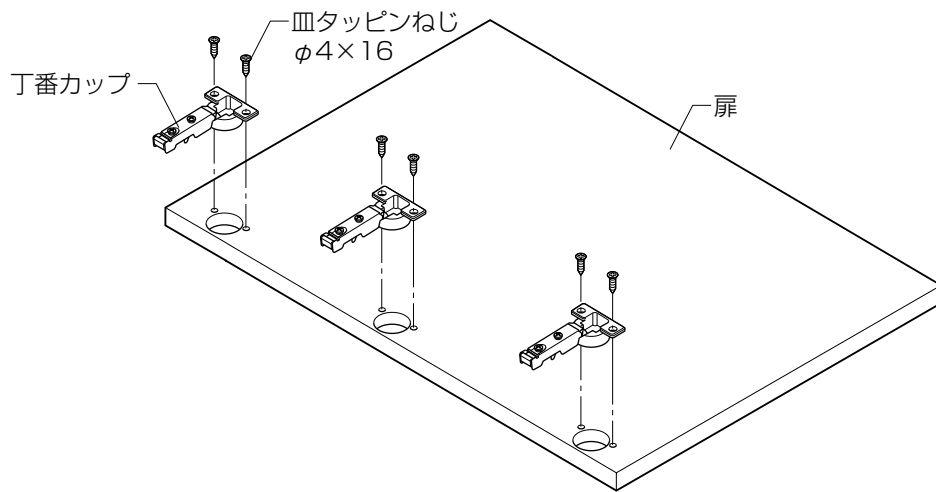
● 「カチッ」と音がするまで棚板の手前を押し下げ、本体に固定されていることを確認してください。



5 扉の取付け

① 丁番カップの取付け

● 扉に丁番カップを同梱のねじで取付けます。

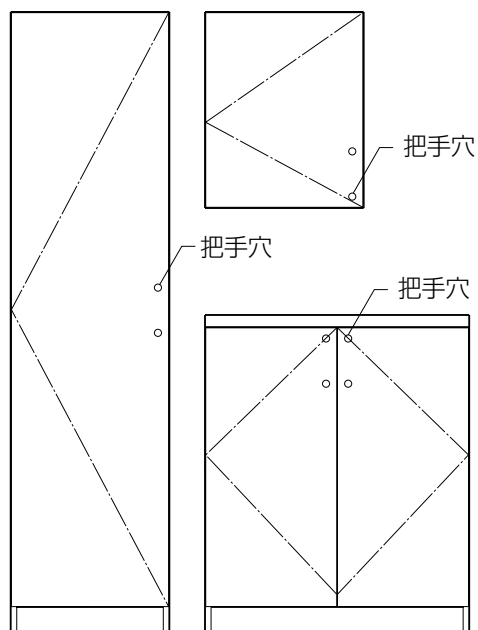


お願い
※丁番カップを取付ける際は、ねじを空転させないようにクラッチ付きドライバーの弱で締めてください。

② 扉の左右勝手の確認

● ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手が上になります。

● トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



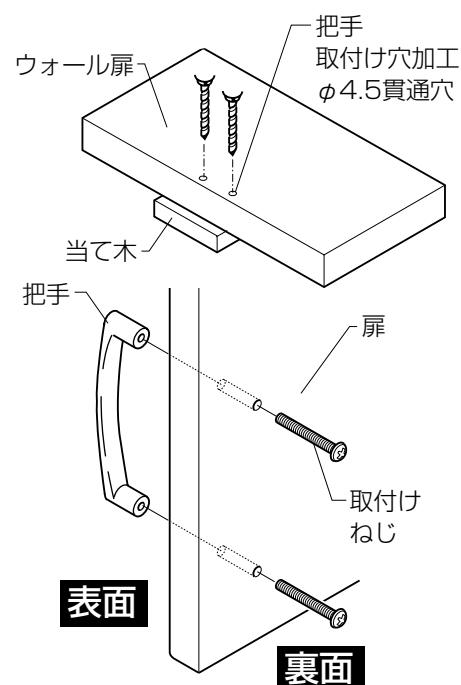
③ 把手取付け穴加工

※445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。
※把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

お願い
※当て木をしないうで穴を開けると、フィルムがめくれる原因となります。

④ 把手の取付け

※把手セットはキャビネットに同梱されています。

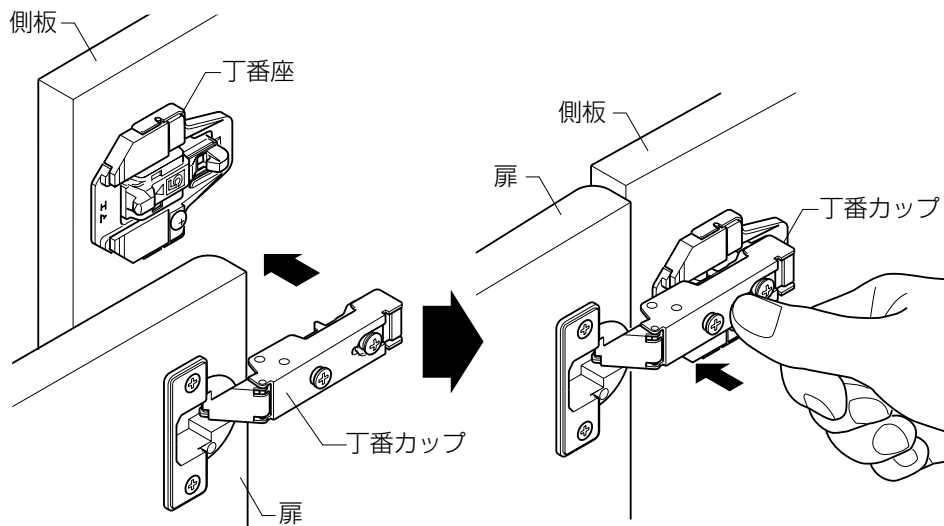


⑤-1.扉の取付け方

▲ 注意

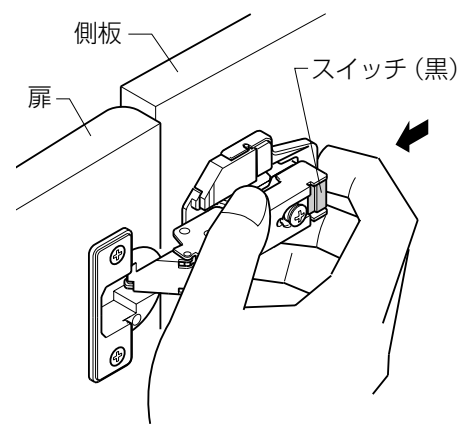
●扉を本体に取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

※扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付けられているか必ず確認してください。



⑤-2.扉の外し方

●扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



■扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
<p>調整範囲 (3mm : 前方2mm ・後方1mm)</p>	<p>調整範囲 (±2mm)</p>	<p>調整範囲 (±1.5mm)</p>